

# シリーズ ■ 中学校武道

## 授業の充実に向けて ②

### なぎなた授業の実践報告と必修化の課題



福岡県須恵町立須恵中学校 教諭  
稲永 優子

中学校武道必修化も2年後に完全実施となる。全中学校で武道の授業を実施する状況において、生徒全員に武道の特性を正しく学ばせ、学習の中でその良さを伝えていくためには、まず指導する側が学習内容を正しく理解し、授業を進めていく必要がある。また、単なる技術指導にとどまらず、武道を通じて礼法や伝統文化を学ぶために、地域指導者や技術の専門家の協力を得るといった授業の工夫などもこれからの課題となる。

本稿では、今年度私が1年生女子を対象に、実際に地域指導者を

#### はじめに

新学習指導要領には、第1学年、2学年の全生徒が武道を学習するとしている。また、なぎなたに関しては、その中の内容の取扱いにおいて、「地域や学校の実態に応じて、なぎなたなどその他の武道についても履修させることができる」としている。

中学校の武道授業では、その目的の一つとして、基本動作と基本となる技を確実に身につけ、それらを用いて、相手の動きの変化に対応した攻防ができるようにならなければならない。

中でも必修学年である第1学年及び第2学年では、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにならなければならない。また、武道の学習に積極的に取り組み、伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康

や安全に気を配るとともに、礼に代表される伝統的な考え方を理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることも必要とされる。

これらの内容を2年後に迫る完全実施に向け、体育科教員が数年の研修の中で学びとり、実践していくのはなかなか難しく、それが課題となっているのも実状である。

しかし、経験者である私自身は、目から見て、なぎなたの魅力はとて大きく、必修化をきっかけに、子どもたちにはなぎなたをとおして多くのことを学んでほしいと考える。

#### 2 なぎなたの良さを学ぶために

武道は「礼」を重んじており、スポーツとは異なったルールやマナーがある。例えば多くのスポーツで、勝者が喜びの表現と

招きながら行った、なぎなた授業の実践例を紹介し、武道（なぎなた）の授業において何が重要となるのかを考えてみたい。



打突台を使った練習

して「ガッツポーズ」をするのは、よく見られる光景である。しかし、武道ではこれらに類する行為は厳に慎むこととされている。

それは、武道では、相手を「互いに技能を習得する上で大切な存在」とし、単に技を競い合うだけでなく、互いに尊重し合い、心身を鍛錬しながら人間形成を図るということを本来の目的としているからである。

なぎなたは、日本古来の武道であり、このような素晴らしい伝統を受け継ぎながら、今日まで伝えられてきた。授業ではこういった側面もぜひ生徒たちに学んでほしいと考える。

技術的な側面から見れば、2m15cmもあるなぎなたを、全身を使って自在に、そして左右対称に操作しなければならぬという点で、一見難しいと思われるが、基礎基

〔資料1〕全9時間の指導計画例〔1年生〕 (※太枠部分は資料2に授業展開例を紹介)

| 学習活動・内容   | 授業改善の手立て〔◎〕評価方法〔●〕つまずきと指導〔△〕  | 評価観点        | 配時               |
|---|---|-------------|------------------|
| <b>【学習段階1】</b><br>1 なぎなたの歴史や用具の名称を知る。<br>2 なぎなたの礼儀作法、所作を学習する。<br>3 基本動作を学習する。<br>・自然体 ・構え ・体さばき<br>・振り〔上下振りのみ〕<br>4 振り上げからの打突、八相の過程からの持ちかえ打突について学習する。<br>・振り上げ面ーもちかえすね<br>・振り上げすねーもちかえ面<br>5 基本動作、基本打突を振り返り、グループで学習する。<br>6 基本打突の組み合わせである打ち返しを学習する。   | ◎なぎなたの歴史や日本の文化を理解させ、関心・意欲を高めさせる。〔DVD視聴〕<br>●なぎなたの歴史や文化について意欲的に学ぼうとしている。<br>●用具の安全や注意事項について気配りができている。<br>◎打突の基本となる動きを1対多数の形式で行い、緊張感を持たせ、全員の動作を確認する。<br>△上体を傾けて打つ、あるいは手の内が違う生徒には正中線からの打突法・体の回転を利用した打突法を習得させる。   | ①<br>③      | はじめ<br><br>50分×2 |
| <b>【地域指導者との授業】</b><br>7 防具をつけた相手〔打突台〕に打ち込み、有効打突の条件を学習する。  | ◎相対の基本打突を組み合わせ、基本動作と応用動作を連動して学習させ、経験を積ませていく。<br>●相手を尊重した礼や打突ができている。<br>●大きな掛け声とともに正しく打ち、受けができている。<br>△連続技をさせる事で、体勢を崩さない打ち方や、体のさばき方を自然に習得させる<br>△グループを作り、お互いの動作を確認しながら学習を進め、技の習得を進めていく。  | ①           |                  |
| <b>【学習段階2】</b><br>1 しかけ応じ1・2本目を学習する。<br>1本目〔しかけ〕振り上げ面ーもちかえすね<br>〔応じ〕刃部受け・柄部受けー側面<br>2本目〔しかけ〕振り上げすねーもちかえ面<br>〔応じ〕刃部受け・柄部受けーすね<br>2 振り返しからの面打ち、しかけ応じ4本目を学習する。<br>4本目〔しかけ〕もちかえすねー刃部受け・払い<br>〔応じ〕すねぬき面・振り返し面<br>3 しかけ応じ1・2・4本目のミニ演技競技会を行う。<br>・演技競技形式で3本を続けて行う。<br>・お互いに審判をし、技の判定をする。<br>4 胴振り返し面打ち、しかけ応じ3・5本目を学習する。<br>3本目〔しかけ〕胴ー振り返し面<br>〔応じ〕刃部受け・払い・刃部受け・巻き落とし振り上げ面<br>5本目〔しかけ〕胴ー振り返し面<br>〔応じ〕刃部受け・払い・刃部受け・柄払い突き | ◎しかけ応じ技の組み合わせ理由を正しく理解し、実践させる。<br>◎技の組み合わせから相対動作を深めさせ、迫力のある、息の合った攻防を習得させる。<br>●身についた技を正しく組み合わせ、攻防の展開を行えている。<br>●目を合わせたままで動作をし、呼吸を合わせて技の組み合わせを実践している。<br>△打ちと受けの理合を理解した演技を完成させるよう、グループ学習を場面に応じて仕組み、教えあい活動を活発にさせる。<br>△地域指導者の専門的な指導を受け、グループ学習を工夫する能力をつける。<br>◎振り返り学習用のプリントから学習内容を確認する。<br>◎ミニ演技競技会より到達度を確認する。<br>●他者の演技を見てアドバイスをすることができる。<br>●相手を尊重した所作や演技ができている。<br>△演技としてペアと技を深めていけるよう話し合い活動を多く設定し、コミュニケーションがうまくとれない組には小グループで教え合わせる。<br>△手の内、通いを十分に使った打突法・相手の力を利用した打突法を振り返らせる。 | ②<br>①<br>② | なか<br><br>50分×5  |
| <b>【学習段階3】</b><br>1 演技競技大会を行い、他グループを評価する。〔ビデオ撮り〕<br>2 演技競技大会のビデオを観賞し、感想を記す。<br>3 しかけ応じを復習する。  | ◎演技競技会より、他者の演技を判定させる。<br>◎自分の技を振り返り、学習のまとめを行う。<br>◎有効打突の条件を確認させる。<br>●協力し、学習できている。<br>●正しく基本動作や対人技能が身についている。<br>●全体を通じて安全に留意した活動ができている。<br>△練習時にビデオを見て振り返り、学習できるようにする。  | ②<br>③      | まとめ<br><br>50分×2 |



2m15cmもあるなぎなたでも、基本をしっかりと学ぶことで、比較的短期間のうちに操ることができる。

3 実際の指導

(1) 実践背景

本をしっかりと学ぶことで、なぎなたは比較的短期間のうちに操ることができる。授業では、生徒たちが基本を学び、なぎなたを操る喜びを味わい、さらには、長い用具を操作することで安全面の大切さをより実感してほしいと思う。本校で1年時に実践した演技競技では、決められた技を2名で演

本校の位置する須恵町は、以前に福岡県で開催された国民体育大会のなぎなた種目の開催町というところもあり、その認知度は高く、校区内で活動している社会体育クラブもある。また、本校では部活動もあり、比較的親しみやすい種目となっている。しかし、学習する生徒にとつ

て、なぎなたはそのほとんどが初めて接する種目となっている。事前に行ったアンケートでは、競技への興味関心が高いことはわかったが、武道学習の基本となる正座、立礼、座礼などといった礼儀作法についての知識が薄く、「正座イコール指導を受けられる際に行うもの」といった間違った認識を持つ生徒も多く存在した。



地域指導者として協力にあたった砂川邦子範士 (中央袴姿)

そこで今回は、私は自分のなぎなた経験(現在五段を取得している)と前任校でのなぎなたの授業の実践経験などをきっかけに、本校の体育授業において、なぎなたを実践しようと考えた。本校では、武道の授業は男女共習とはなっておらず、私が女子になぎなたを、別の男性教員が男子に剣道を教えることになった。

実際には、11月中旬から週3回の予定で、1学年(90名)を対象に、2

クラス合同(36名)と3クラス合同(54名)の授業を受け持ち、資料1のとおり、9時間行った。また、2時間目から6時間目の授業では、日頃なぎなたの稽古で私がお世話になっている範士の先生(一名)に、地域指導員としてご協力をいただいた。

**会祖山口剛玄先生 生誕100周年記念刊行**

**新発売!!**

全日本空手道剛柔会  
**剛柔流型教本「下巻」**  
Japan Karatedo Gokukai Association Goju-ryu Kata series vol. 2

山口剛史 著

**英語表記有**

型の全拳動、裏側からの写真を掲載  
「中間動作」を掲載し、剛柔流に独特な技と技のつながりを表現  
転掌には「掛け合わせ」、他の型には「分解」が収録

**【収録内容】**  
・転掌  
・セイサン  
・シソーチン  
・セーパイ  
・クルルンファー  
・スーパーリンパイ  
・おわりに  
・著者、演武者紹介

商品番号: BOK-204  
解説: B5版 モノクロ P200  
価格: 3,600円(税込)

**上巻も好評発売中!!**

全日本空手道剛柔会 山口剛史 著  
**剛柔流型教本「上巻」**  
Japan Karatedo Gokukai Association Goju-ryu Kata series vol. 1

**【収録内容】**  
・はじめに  
・三戦  
・太極上段2  
・太極中段2  
・太極下段1  
・太極掛け受け1  
・太極廻し受け1  
・ゲキサイ第1  
・ゲキサイ第2  
・サイファー  
・サインチン  
・サンセール  
・著者、演武者紹介

商品番号: BOK-203 解説: B5版 モノクロ P232 価格: 3,600円(税込)

**CHAMP** 商品のお問合せ・ご注文はこちらまで  
TEL: 03-3315-3190  
受付時間 9:30~18:30 定休日 日・祝日  
FAX: 03-3312-8207  
http://www.champ-shop.com/

器具については、私個人が所有しているなぎなた40本と、部活動で使っている15本の、計55本を用意した。さらに有効打突の条件を学習するために、同じく部活動で使っているなぎなた専用打突台を2台用意した。私自身が持参したなぎなたは、以前、県内の高校、大学などから古くなったものを少しずつ集めたもので、刃部（1500円程度）だけを新しく替えたものである。また、授業はすべて体育館で行い、生徒は裸足になり、防具は着けず、長袖ジャージとハーフパンツで行った。

(2) 指導のポイント  
具体的な指導にあたっては、次の3つにポイントを絞った。  
一、基本的礼儀作法の学習には時間をかけ、その意味を具体的に伝える。  
二、なぎなたの実技を通して、技能の中核である対人的技能を正しく学ぶ。そのために必要な基本的動作を身につけさせる。  
三、仲間や相手の人格を尊重する態度や、互いに協力し、自主的に活動する能力を養う。  
また、これらのことを実践するための具体的方策として次のことを行った。  
・活発な意見交換ができるよう、生徒同士で十分にコミュニケーション活動を行わせる。  
・技の習得段階に応じて活動目標を達成できるように、学習プリントで確認させ、自ら進んで学習できる手だてをつくり、自らの活動の中から「できる」喜びを体験させる。



学習プリントで、自ら進んで学習する手だてをつくる

毎回の授業の中で礼儀作法についての知識を高める話をし、実際に体験させて作法の確認をさせる。

(3) 評価の観点  
なぎなたの授業における評価は、次の3つの観点を中心に行なった（それぞれ資料1の丸数字に対応）。  
① 全身を使つての操作法や動きの多様性に関心をもち、武道の伝統的な考え方として、仲間や相手の人格を尊重し、礼儀正しい立ち居振る舞いができる。**【関心・意欲・態度】**  
② 相対動作をすることで相手や技のやり取りを踏まえながら活動できる。**【技能】**  
地域指導者とのふれあいの

中で、専門性の高まりを感じ、高度な技能を習得できる。**【思考】**  
③ 対人的技能につながる基本的動作を正しく身に付け、攻防の際には安全かつ正確な技を使うことができる。**【知識・理解】**

(4) 学習内容を深める場面例  
第1学年5時間目の授業展開例を資料2に示した。また、実施にあたっては次の二点を目的として行った。  
一、前回まで行ってきた動作を確認し、本時の演技競技につながるような技の復習を

(資料2) 5時間目の授業展開例〔1年生〕

| 学習活動・内容  | 指導上の留意点  | 形態     | 配時 |
|--|--|--------|----|
| 1 前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。  | ○前時の学習のめあてから学習活動内容を実技の2人組で話し合わせ、確認させる。   | 一斉組    | 5  |
| <b>【めあて】 技の攻防を正しく行い、迫力のある演技を完成させよう</b>   |  |        |    |
| 2 基本動作を行いながら、それぞれの技を確認し、正確な技を目指す。<br>一対多数… 構え<br>体さばき<br>打突<br>受け方   | ・1・2・4本目の演技時のお互いの呼吸や理合について考えさせる。<br>技を合わせるのではなく、お互いの真剣な動作から自然に呼吸が合ってくることに気づかせる。<br>・お互いの技が正確でないと、演技としての組み合わせが成立しないことを確認させる。<br>○基本的動作を地域指導者の号令のもとに全員で確認する。<br>・振り上げ、持ち替え時の動作時で体の中心に石突(なぎなたの部分名称)があるかを確認させる。<br>・受けの動作時に、繰り込み、繰り出しが十分に行えているかを確認させる。<br>・発声を十分に行わせる。<br>・重心の移動が円滑に行えるよう注意する。 | 一斉     | 7  |
| 3 相対での部分打突を行い、お互いの技を確認し、アドバイスを受ける。<br>相対打突… 打ち返し<br>振り返し面  | 指揮者を中心とした一対多数の動作を行わせ、緊張感を持った動作を実践させる。 <b>【授業構成の工夫】</b><br>○基本動作をもとに、相対での技の組み合わせを行わせ、技を完成させる。<br>・身についた技を正しく組み合わせ、攻防の展開を行えている。<br>○技の組み合わせから相対動作を深めさせ、迫力のある、息の合った攻防を習得させる。<br>・正確さを重視させる。攻めの気持ちで受けることを確認させる。  | 組      | 8  |
| 4 しかけ応じ1・2・4本目の演技を組で協力し、呼吸の合った演技に作り上げてく。<br>1本目 [しかけ] 振り上げ面-もちかえすね<br>[応じ] 刃部受け・柄部受け-側面<br>2本目 [しかけ] 振り上げすね-もちかえ面<br>[応じ] 刃部受け・柄部受け-すね<br>4本目 [しかけ] もちかえすね-刃部受け・払い<br>[応じ] すねぬき面・振り返し面 | ○技の組み合わせから相対動作を深めさせ、迫力のある、息の合った攻防を習得させる。<br>・正確さを重視させる。攻めの気持ちで受けることを確認させる。<br>正確な打突が行えている組には、動作を、呼吸を切らずに行うようアドバイスをする。また、お互いの視線を合わせたままの動作を行わせ、呼吸を合わせて技の組み合わせを実践させる。<br>演技としてペアと技を深めていけるよう、話し合い活動を多く設定し、コミュニケーションがうまくとれない組には小グループで教え合わせる。 <b>【授業構成の工夫】</b>                                   | 組↓グループ | 15 |
| 5 中間発表会を行い、お互いを評価しあう。  | ○グループ内でお互いの演技発表を行い、審判をするのとともに見て感じたことを伝えさせる。<br>・グループ内で前半、後半に分けさせて発表し、他グループを評価する。<br>・自分の演技を振り返らせる。<br>○本時の実技を基に、演技競技会を行うことを確認させ、次時への意識付けをさせる。  | 一斉     | 10 |
| 6 本時の学習のまとめと次時の学習内容を確認する。  |  | 一斉     | 5  |

場面で生徒の変化を感じることができた。また、冬の寒い時期に実施したにもかかわらず、背筋を伸ばし、真剣に学習に臨む生徒の姿に、自分自身が武道の大切さを改めて学ぶ結果となった。

地域指導者からの専門的な学習場面では、生徒たちが指導者の立ち居振る舞いを含め、多くのことを感じ取っていたようである。授業では、①道具を安全に取り扱う、②学習相手に思いやりを持ち、礼法を学ぶ、③他者の学習結果を純粹にほめ、アドバイスをすると、といった行動を多くの場面で目にするようになってきた。

地域指導者については、指導者の確保、授業実践に向けた研修など、課題は多いが、教育現場における学習の主旨を教師としっかり共有できれば、より効果的な授業の実践が可能になると考える。授業協力をいただいた地域指導者が、グループ学習中に行った生徒同士の評価発表

を聞き、攻防に関する内容などで専門家でも思いつかないような発表をする生徒がいることに感心する場面もあった。

私は、なぎなたをできるだけでなくの生徒が経験し、そのすばらしさ、ひいては武道のすばらしさを知ってほしいと考える。今後、生徒たちの伝統と文化を尊重する心を育むためにも、授業における武道の位置づけは今以上に重要になると思われる。私自身も必修化に向けて引続き武道授業の深化に努めていきたいと考えている。

【参考文献】  
 (1) 月刊「武道」平成20年6月号、平成21年2月号、9月号  
 (2) 「剣道日本」平成21年8月号  
 (3) 「学校体育実技「武道」指導資料・剣道授業の展開」全日本剣道連盟  
 (4) 「学習指導要領解説保健体育編・平成20年9月」文部科学省



地域指導者が基立ちになって技の指導を行った



教員と地域指導者がペアになってお手本を示した

行う。さらに、相対動作を行うことで、相手の動きに応じた基本動作や攻防を展開することに關する理解度を高める。また、地域指導者からのアド

バイスにより、できる喜びを実感させつつ、正確な打突ができるようになる。二、グループでコミュニケーションを取りながら学習するこ

とで、相互を評価しながら思考力の高まりを感じさせるようにし、演技を作り上げていく楽しさに気付くことができるようにする。

(5) 地域指導者の協力による実践例  
 地域指導者による第1学年演習技の実践内容を資料1、2の学習活動・内容の点線欄に示した。

学外の指導者に授業協力を依頼するには、まず、授業の趣旨を正しく理解していただき、指導内容や評価方法を明確にしておく必要がある。そして、技術指導の中で武道の良さを生徒に伝えるための時間を設けたり、相対動作で教員とペアになってお手本を示すといった、学習形態の工夫を試みたい。それにより、生徒たちは専門的な知識を身につけ、互いの課題に気付き、学びあうことを知り、学習をより深く進めることができる。

4 まとめ

今回の授業実践では、多くの

快適で安全な都市空間の創造をめざす・・・東洋実業グループ

- ビルディング・トータル・マネジメント
- 清掃等建築物の環境衛生管理
- 空調、電気、水系統等諸設備の運用、管理
- 警備、保安、駐車場管理
- 原子力セキュリティ及び施設メンテナンス
- 工場、ダム等のセキュリティ
- 案内、受付他料金徴集業務
- 公園等のグリーンメンテナンス
- ビルメンテナンス用ソフトの開発販売
- バイオ研究開発
- その他建築物の運用、管理に係る一切の業務

株式会社 東洋実業 代表取締役 横田 正弘

札幌 本社 / 札幌市中央区北六条西22丁目250番14東実ビル TEL(011)612-1911(代)  
 東京 本社 / 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル TEL(03)3345-0531  
 営業所 / 函館・室蘭・苫小牧・千歳・恵庭・小樽・余市・岩内・石狩・岩見沢・旭川  
 士別・富良野・占冠・帯広・北見・釧路・日高・遠別・深川・埼玉  
 海外事業 / 株式会社東洋実業マレーシア / 東洋実業シンガポール PTE. LTD. / 東洋  
 セキュリティ&ビルディング・マネジメント(香港) LTD./